

『エコシステムアカデミー環境セミナー』開催

今回で10回目となる「エコシステムアカデミー環境セミナー」(テーマ:SDGsに貢献する体験環境学習)を三菱製紙本社で11月14日に開催しました。

昨今、学校教育の場ではESD(持続可能な開発のための教育)やSDGs(持続可能な開発目標)が取り上げられるなど、エコシステムアカデミーの主たる活動のひとつである「体験型環境学習」の果たす役割はますます大きくなってきています。そこで、今回の環境セミナーでは「体験型環境学習」に焦点を当て、環境省 三木様には政策的な側面から、日本野鳥の会 大畑様には活動の側面からご講演をいただきました。

聴講者数は、合計で約200名(本社会場における社外来場者60名、およびTV会議システムによる各場所参加者を含む)となり、熱気に溢れたセミナーとなりました。

聴講された方のアンケートでは、「勉強になった、考えてゆく必要がある」等に加え、「もう少し詳しく説明が欲しい」というコメントもあり、企業の社会的責任、企業のSDGsとの関わり方、これからの企業の価値について、多くの方が関心を持っていることが感じられました。

持続可能な社会を築くために、企業や私たち一人ひとりが果たすべき役割について考える良い機会となったのではないのでしょうか?次は私たちが具体的なアクションを起こす番です。一步踏み出しましょう。

エコシステムアカデミーは、これからも、環境や森林にスポットを当てた持続可能な社会づくりに繋がるセミナーを企画していきますので、ご期待ください。

《講演の概要》

●環境省 大臣官房総合政策課

環境教育推進室長

三木 清香 様

演題:「持続可能な開発目標(SDGs)と
ESD及び環境教育の役割」

前半で「体験型環境学習」が求められている背景となる地球環境問題の状況、SDGsと環境教育の関連性が説明され、環境教育関連法令・制度の説明、そこから「企業と地域の協働による人づくり」の具体的事例紹介へとお話が進みました。SDGsと企業と教育の関連性を理解することができるご講演でした。



●公益財団法人日本野鳥の会

施設運営支援室長

大畑 孝二 様

演題:「日本野鳥の会における環境学習」

冒頭に日本野鳥の会設立時のお話があり、人間と自然(野鳥)の共生がその基本理念としてあることが紹介されました。現在も、その考えを引き継ぎ、環境管理・環境調査・環境学習を三位一体として、行政・企業・ボランティアと連携しながら、様々な活動を全国で実践していることをご紹介いただきました。

